

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	地域産業の振興		
	施策	2	商工経済	産業部	杉本 一徳

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 魅力ある地域産品の商品価値をより高めるため、新商品開発、販路開拓を後押しする名張ブランド化の確立が必要となっています。
- 中小企業等の経営基盤強化、後継者育成など経営の安定化を図る一方、新分野へのチャレンジを醸成する環境づくりが必要となっています。

2. 施策の基本方針

Plan

- 地域産品の活用や農商工の連携による新事業の育成、地産地消など地域内経済の循環促進を図り、商業・サービス業の振興さらには地域経済の活性化を図ります。
- 中小企業等に対する資金調達、経営指導、各種融資制度や補助金などの財源確保の支援を通し、商工業の振興を図ります。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan **D**o

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
買物や食事などの日常生活の利便性に満足していると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	70.0	46.2%
	成果	60.7	63.9	59.3	65.0	
とれたて名張交流館取扱額 (千円【延べ数】)	目標	-	-	-	501,000	100.0%
	成果	98,197	330,287	429,974	523,277	

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)

Plan **D**o

若者移住定住チャレンジ支援事業において、3件の採択(平成28年度2件、平成30年度1件)を行い、地域経済の活性化に寄与しました。
採択されなかった応募者についても支援を行い、12応募者中9応募者が創業することができました。そのような取組から創業に関する気運の醸成はできており、創業者の相談も年々増加しています。
市内飲食店等への地元野菜の提供等の啓発活動を行い、とれたて名張交流館の売り上げ増とともに地産地消、農商工連携の取組を行いました。
とれたて名張交流館への出荷者に対し、リアルタイムの販売状況データを提供し売り上げ増加に向けた仕組みづくりを行いました。
名張の特産物であるブドウを活用したワインを醸造するためのワイナリー施設の整備を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

とれたて名張交流館の開館当時は地元野菜を取り扱う店舗もほとんどない状態であったが、地産地消が進んでいく中で地元野菜を販売する店舗が増え、名張産の野菜の出荷量は市全体では増えたものの、市内スーパー等においてどこでも買える状況となったため、とれたて名張交流館の売り上げは減少傾向にあります。
ブドウを市外に広めるとともにブドウの知名度をさらに上げるためにふるさと名物応援宣言を行ないます。
事業主の高齢化が進み、後継者育成が急務となっている。新規創業者支援とともに、既存事業所の後継者育成に取り組む必要があります。
経営力の増加を目指し、既存商品のプッシュアップ、名張ブランドの確立等が必要となっています。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

とれたて名張交流館の販促会議などを行い、売り上げ増加に向けて職員のマンパワーを活用します。
とれたて名張交流館において、イベント等を開催し、集客アップに取り組みます。
模様替え等、売り場の改善を行い、売り上げアップにつなげます。
令和元年度より設立される名張市経済好循環推進協議会において、事業承継を見据えた事業所への支援、創業者への支援に取り組みます。
名張ブランドを確立させ、市内外に名張市のPRを行うとともに、事業所の売り上げ増加に繋がります。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

農産物の地産地消を推進するとともに、地域経済の活性化に向けて新規創業者の支援、既存事業所の育成・支援に取り組むこと。